

第2次小樽市都市計画マスタープラン策定業務

地域別懇談会

開催結果報告書

小 樽 市

目 次

1. 開催目的	1
2. 開催概要	1
3. 参加者人数.....	3
4. 意見交換の結果	4
(1) 塩谷地域.....	4
(2) 長橋・オタモイ地域.....	6
(3) 高島地域.....	8
(4) 手宮地域.....	9
(5) 中央地域.....	12
(6) 山手地域.....	14
(7) 南小樽地域.....	16
(8) 朝里地域.....	18
(9) 銭函地域.....	19
5. 資料.....	22
(1) 事前配布調査票	22
(2) 地域別懇談会説明資料.....	24

1. 開催目的

小樽市の現行都市計画マスタープランは、策定から15年が経過しており、見直しの準備を進めています。市民の皆様からご意見を頂戴し、地域別のまちづくり方針を検討し、次期都市計画マスタープラン策定の資料と致します。

2. 開催概要

【日時】 令和元年5月18日（土） 13:30～16:00

【場所】 小樽市役所 消防庁舎講堂 6階

【参加者】 小樽市に在住する市民（52名）

【概要】 公募等により、小樽市民52名が参加。懇談会の開催主旨や「まちづくり市民アンケート結果」、「おたる子ども会議グループワーク結果」について、事務局から参加者にご説明し、地域ごとのテーブルに分かれ、「地域の宝物」や「地域の宝物を引き継いでいくには」など、意見交換をおこないました。



図 地域別懇談会の開催風景



図 小樽市より開会の挨拶



図 地域別懇談会開催の様子

3. 参加者人数

表 地域別懇談会の参加者人数

地域	参加人数
塩谷地域	6名
長橋・オタモイ地域	7名
高島地域	4名
手宮地域	4名
中央地域	6名
山手地域	4名
南小樽地域	7名
朝里地域	7名
銭函地域	7名
全9地域	52名

4. 意見交換の結果

(1) 塩谷地域

地域	地域の宝物	宝物を引き継いでいくために解決すべきこと
塩谷地域	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○忍路海岸線 ○塩谷海岸海水浴場 ○田園的自然景観 ○塩谷丸山 ○伊藤整文学碑 <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅（市営・道営） ○学校 ○病院 <p>【歴史・文化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化 ○塩谷神社のお祭 ○忍路にしん番屋保存会 ○塩谷神社・・・松前奴保存会 ○お地蔵さん・・・ふとんの西川（京都西川）に関係がある。 <p>【観光等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光・・・観光資源がある。 <p>【産業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料（漁業・農業） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空家問題 	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海水浴場・海岸線・・・◆現在、海岸線の清掃は個人や小規模団体が行っているが、個人のボランティア的活動だけではこのまま維持することが難しいため、学校や行政なども含めて地域全体で清掃を行う。 ○塩谷丸山・・・◆スキー場等を作るなど、観光向けの整備をする。 ○ゴロダの丘（伊藤整文学碑）・・・◆周辺環境の整備（草刈りや駐車場の整備）をすることで観光客を増やす。 <p>【歴史・文化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域文化の伝承・・・◆学校教育で地域文化の伝承等を行うなど、地域ぐるみで地域の文化を受け継ぐ体制を作る。 <p>【観光等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道の駅・・・◆塩谷インターチェンジが出来たので、その付近に「道の駅」を作り、観光客を増やす。 <p>【産業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漁業・農業・・・◆塩谷には小樽の食糧基地的な側面があるため（漁業・農業）、塩谷で取れた海産物や農産物を道の駅等で販売することが地産地消にもつながる。



図 塩谷地域の意見交換風景



図 塩谷地域のグループ発表の様子



図 塩谷地域の宝物

(2) 長橋・オタモイ地域

地域	地域の宝物	宝物を引き継いでいくために解決すべきこと
長橋・オタモイ地域	<p>【人】 ○町内会・・・◆おたる潮まつりのパレードで子どもの参加を支援。◆子ども会と消防とコラボしたイベント。◆町内会に加入してもらうには、熱心な勧誘が大事。勧誘にも人材が必要。人は資源。</p> <p>【自然や景観等】 ○オタモイ海岸</p> <p>【歴史的建造物】 ○オタモイ唐門○龍宮閣跡</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】 ○なえぼ公園・・・◆自然公園の制約。公園の中の川に魚がいる。 ○しあわせ公園・・・◆子育てできる環境は重要。</p> <p>【その他・情報提供・課題など】 ○後志道（朝里⇒余市）・・・◆小樽市民は利用していないのでは。 ○旧国道・・・◆人が集まるので、街灯などで明るくすべき。 ○生活道路の除雪 ○小売店・・・◆身近に小売店がない。 ○バス道路の植樹マス・・・◆雪害で折れたまま。管理が必要。 ○空き家対策・・・◆旧国道～2丁目・5丁目。市の支援で取り壊しをする。 ○警察官舎・公務員宿舎の利用</p>	<p>【人】 ○街を明るく見せる・・・◆小樽に住む人を増やすためには、街を明るく見せることも必要。 ○地域と団体が連携する行事・・・◆今後も増やしていくべき。 ○人口減少対策・・・◆若い人が住むために具体的対策が必要。◆移住対策も熱心な対応が必要。一人が住めば、家族や知人など、他の人も住むことになる。◆市職員は、小樽市内に住むべき。 ○町内会・・・◆町内会の年齢構成や地域の歴史などを把握する。</p> <p>【自然や景観等】 ○オタモイ海岸の再整備・・・◆夕陽の展望台の跡は名所になる。◆龍宮閣の再整備が必要。◆遊歩道の再整備が必要。（現在一部立入禁止） ○清掃・・・◆観光客が歩くところ（道路脇などの雑草）を綺麗にするべき。行政と町会が協力する。</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】 ○なえぼ公園・・・◆市となえぼ公園を守る会の連携を強化すべき。◆雪捨て場から、川の水質保全の取組み。◆川上の雪捨て場・ソーラー発電のある場所からまず水をきれいにすべき。 ○歩道・・・◆小樽育成院からオタモイ入り口までの歩道を整備し、安全・快適に歩ける場所づくり。 ○しあわせ公園・・・◆市民が楽しめる公園にしてほしい。水飲み等の整備。</p> <p>【その他】 ○市民への情報提供・・・◆都市計画マスタープランの見直しについてどのような検討をするのか。◆地区データについても情報提供が必要。</p>



図 長橋・オタモイ地域の意見交換風景



図 長橋・オタモイ地域のグループ発表の様子



図 長橋・オタモイ地域の宝物

(3) 高島地域

地域	地域の宝物	宝物を引き継いでいくために解決すべきこと
高島地域	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○赤岩遊歩道 ○滝 ○海岸線・・・◆海水浴ができなくなった。昔は子どもの遊び場だったが、今の子ども達は知らない。海岸に行けなくなってしまった。 ○ロッククライミングの練習場所 ○青の洞窟 ○自然（展望台に至る道） ○鯉まつり ○しゃご祭り <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手宮公園・・・◆桜がきれいで栗ひろいができるなど良い場所である。 ○水族館 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○団地（市営住宅）が多く、周りは住宅のみ。団地には若い人が長く住んでない。 ○子どもが少ない。小学校は1～2クラス/学年となっている。 ○街並みがよくない。 ○利便性が不足している。 ○町内会の草刈りやゴミ拾いになかなか参加してもらえない。 ○除雪にお金かかるため、町内会費が1800/月となっている。 	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然・・・◆手をいれなくてそのまま活用すべき。人が入ると自然が損なわれる。 ○海岸沿い・・・◆現状では、自由に利用できないため、場所・期間を限定し、「サマーキャンプ」を実施し、子ども達や色々な人に知ってもらおう。◆子ども達の遊び場となり、観光客と日常的に交流し、多様な価値観にふれる機会となる。 <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市営住宅・・・◆空き家を多用途に活用する。 ○水族館・・・◆老朽化が進んでいるため、建物の整備が必要。◆アクセスに問題があるのではないか。渋滞が多くなっている。運河から船を出すなど、アクセス性を向上する。 <p>【観光等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光振興・・・◆ニセコのようにスキー場などを活用する。 ○観光ボランティアガイド・・・◆市民が一体となり、おもてなしを行う。案内役（通訳など）、高齢者の観光ボランティアなどを配置する。 ○外国人観光客との交流・・・◆観光で良い思い出を作るには、人とのコミュニケーションが大切。市民、特に子ども達が外国人と交流する機会を増やし、新たな価値観に触れることで、教育面にもよい。◆外国人観光客のマナーの違いについて、問題を一つ一つ解決し、受け入れる連携体制を作る。 <p>【土地利用等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き家・・・◆市で空き家を一定程度買い取り、企業で管理し、民泊などに活用する。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口減少対策・・・◆人口を増加、維持するためには、子どもを育てやすい環境とすることが重要。◆手当の支給など自治体の政策的な取り組みも効果がある。



図 高島地域の意見交換風景



図 高島地域のグループ発表の様子

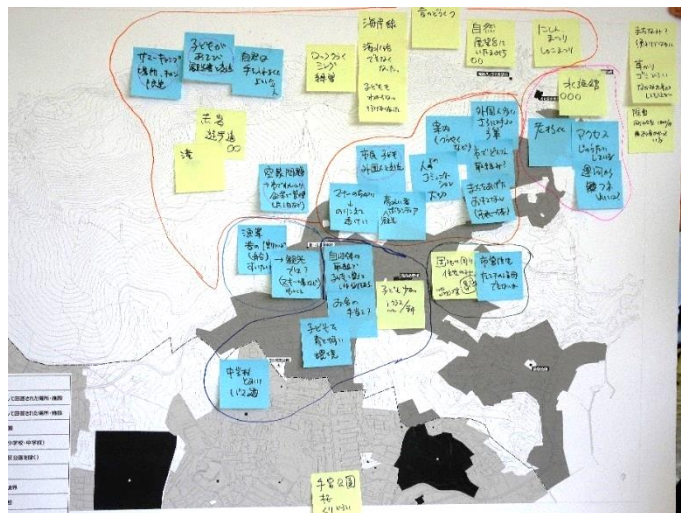


図 高島地域の宝物

(4) 手宮地域

地域	地域の宝物	宝物を引き継いでいくために解決すべきこと
手宮地域	<p>【自然や景観等】 ○栗林・・・◆台風で枝が折れてしまつて立ち入り禁止区域が多い。花がたくさんあり良いところである。</p> <p>【文化・歴史等】 ○古代文字・・・◆残すものべきもの。長崎屋にレプリカがある。古代文字最中がかつてあった。 ○小樽稲荷神社・・・◆351年の歴史がある。桜まつり、春うたライブなどイベントには多勢人が来る。祭りを3日間行う。 ○尼港慰霊碑（手宮公園内）・・・◆慰霊祭が続いてほしい。平和への意識だから大事。</p> <p>【歴史的建造物等】 ○石蔵群 ○旧日本郵船 ○旧手宮線・遊歩道・・・◆北海道遺産。◆きれいになった。◆ガラスの市等イベントをやっている。◆整備されており、草刈りも行き届いている。 ○旧トランスポーター・・・◆北海道遺産になった。地元の人でも知らない人がいる。◆基礎の部分だけ残っている。</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】 ○手宮公園・・・◆草刈り等手入れが行き届いておらず整備が不十分。眺望が良くない。 ○緑化公園（手宮公園内）・・・◆桜がきれい。弁当持ってハイキングができる。整備されている。眺望が良い。アケビがある。駐車場から遠い。 ○学校跡地・・・◆子どもの遊べる場が少ない。 ○鱸友朝市・・・◆地元の人でも観光客も訪れる。 ○中野植物園</p>	<p>【自然や景観等】 ○栗林・・・◆眺望を良くする。</p> <p>【文化・歴史等】 ○古代文字・・・◆レプリカを作って市民会館やマリノール等の公共施設に展示する。◆PRする。 ○小樽稲荷神社・・・◆小樽3大祭りに入れるべき。◆複数の場所を巡る神社・寺ツアーを行う。◆祭りの時期は学校を休みにしてみんなで盛り上げる。◆インターネット等で寄付を募る。◆火事から守る。</p> <p>【歴史的建造物等】 ○旧手宮線・遊歩道・・・◆きれいになったので現状を維持していくのが良い。意識が変わったのか周辺も自然とキレイになった。 ○旧トランスポーター・・・◆地元の人でも知らない人がいるのでガイド付き地元向けのツアーを開催する。◆駅→旧手宮線→旧トランスポーターと連携して人を呼び込めるような仕掛けがあると良い。◆崩れてきている箇所があるので修復する。</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】 ○手宮公園・・・◆草刈りなど整備をして、眺望をよくすると小樽市内から海まで見渡せるようになる。 ○緑化公園（手宮公園内）・・・◆駐車場から遠く、登るのが大変な為、レトロバス等で緑化公園→海を回るコースを作ると行き易い。◆末広中学校跡地のグラウンドを駐車場にすれば良い。◆PRする。 ○学校跡地・・・◆ボール遊びや自転車に乗れる場所として子どもの遊び場として開放。◆避難所にする。 ○鱸友朝市・・・◆有名人を呼んでイベントを開催することで集客を狙う。</p> <p>【土地利用等】 ○空き家・・・◆手宮地域は店や人がずいぶん減ってきており空き家もある。旧民家を活用しカフェにする等して活気を取り戻す。人が集まればおのずとまちが活性化する。</p>



図 手宮地域の意見交換風景



図 手宮地域のグループ発表の様子



図 手宮地域の宝物

(5) 中央地域

地域	地域の宝物	宝物を引き継いでいくために解決すべきこと
中央地域	<p>【自然や景観等】</p> <p>○花園町（啄木通り）・・・◆花園町には石川啄木居住の地がある。また、水天宮や小樽公園には歌碑があり、啄木通りは小樽の歴史でもあるので、観光客をもっと呼び込む</p> <p>○堺町通り・・・◆歴史的建造物や古い街並みが残っている。</p> <p>○花園グリーンロード・・・◆グリーンベルト地帯。◆町会で桜の会を立ち上げて桜の植樹などを推進。◆地域の憩いの場所。</p> <p>○都通り商店街のアーケード・・・◆天候等問わず利用できる。</p> <p>○小樽駅から花園公園通りの商店街・小樽駅前通り・日銀通り・アーケード街・小樽公園通教会・花園会館。</p> <p>○入船町・・・◆JR 駅が近くてバスの便も良い。◆医療機関も多く、買物も楽で高齢者でも徒歩で十分に生活できる。</p> <p>【歴史・文化等】</p> <p>○旧日本銀行小樽支店・・・◆小樽の繁栄を象徴する建物。</p> <p>○水天宮・・・◆歴史的建造物であり、歴史的に貴重な神輿がある。◆境内には樺太国境石のレプリカがある。</p> <p>○流星刀・・・◆隕石から造られており珍しい（榎本家から竜宮神社に奉納）。</p> <p>○旧手宮線・・・◆街中にあり、沢山の観光客が来る。</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <p>○市役所、図書館、商店、銀行郵便局等が近くにある。</p> <p>○小樽公園・・・◆公会堂や忠魂碑といった歴史的建造物がある。</p>	<p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <p>○小樽公園・・・◆木々や草花の維持管理・清掃が必要（地域の住民も参加）。</p> <p>○水の広場（花園グリーンロード内）・・・◆環境整備をすれば、子ども達ももっと集まる。</p> <p>○水道管等の老朽化対策・・・◆堺町地区は、古い土地のため地盤がよくない。水道管の老朽化による水漏れ、地下水や雨水で水溜りができている。対策をすることで観光客も不満なく小樽の街を見ることが出来る。</p> <p>○電柱等の地中埋設化・・・◆小樽駅周辺等電線を地中埋設化すれば、景観が良くなる。</p> <p>○歩道橋の撤去・・・◆小樽市産業会館前の歩道橋を撤去して、横断歩道にした方が良い。</p> <p>○小樽市産業会館（区分所有建物）・・・◆旧 NTT 東日本小樽支店撤退後、空ビルとなっている。有効活用が必要。</p> <p>【歴史・文化等】</p> <p>○水天宮・・・◆多くの人や観光客にお参りしてほしい。春は桜の名所となるので綺麗に整備してほしい。</p> <p>【土地利用等】</p> <p>○空き家・空き地対策・・・◆小樽駅周辺がシャッター通りになっており、空家・空地の処置・整理・改善が必要。◆旧手宮線の周辺（色内1丁目、小樽市文学館の山側）では、壊れた住宅がある。街の中心部にあるため、市と地域で景観を良くするための検討が必要。</p>



図 中央地域の意見交換風景



図 中央地域のグループ発表の様子



図 中央地域の宝物

(6) 山手地域

地域	地域の宝物	宝物を引き継いでいくために解決すべきこと
山手地域	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天狗山・・・◆自然が豊か。 ○高速道路からの眺望・・・◆眺めが良い。 ○塩谷や奥沢の方へ流れる川 ○旭展望台 ○坂・・・◆坂の上からの景観がすばらしい。◆坂が多いことは、地域の特徴の一つ。大変なことも多いが、美しい景観がある。うまく付き合って生活していくことが大切。 <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最上の寺や末武牧場・・・◆歴史がある。◆小林多喜二の碑がある。 <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校・・・◆小・中・高等学校、大学が揃っているのは山手地域だけ。 ○入船公園やからまつ公園・・・◆自然が豊か。 <p>【交通網等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○比較的便利な地域。 ○バスなどの交通が充実しており、都会すぎないところが良いと感じる。 ○北海道新幹線の駅が南小樽地域にできれば、山手地域の人の流れが変わる可能性あり。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天狗山スキー場・・・◆北海道で最初にロープウェイが設置されたスキー場であり、スキー指導員を目指す人のあこがれの場所。 	<p>○古きよきものを生かし、少しだけ手を入れて魅力が高まると良い。</p> <p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○路地を楽しく歩けるコースの整備・・・◆松ヶ枝中の周辺を整備し、水源地から松ヶ枝中の周辺、最上公園を通過して天狗山につながる散策路コースにする。◆水源地から旧入船町の周辺を通り、松ヶ枝中周辺につながる散策路コース。地域内外から人を呼びこむことができる。 ○旭展望台の整備・・・◆散策路の舗装が不十分。◆トイレが汚れており、綺麗にして欲しい。◆天狗山から旭展望台につながる道路が歩みにくい。ここは小林多喜二の碑があり、歴史的な価値がある。簡易舗装で良いので整備してほしい。◆ロープウェイ（無料）で上まで行って、下りは歩いて散策できれば人が来る。中央バスと連携し、上まで行く人が増えれば、レストランなどで消費が増える。◆子どもがもっと利用しやすくなるよう教育委員会と中央バスが連携し、リフト料金やバス料金の見直し等をおこなう。 <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校・・・◆「クリーン作戦（清掃）」で中学生が活動していたが、現在は町内会が中心。中学生にも参加してもらうことで学校と地域の繋がりを作る◆「町会だより」を高校に配付することなどを検討。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天狗山、天狗山スキー場の整備・・・◆「天狗山のクリーン作戦」など、地域の交流や活動にもっと積極的に参加してもらえるとよい。◆散策コースが充実すると良い。◆初心者コース（馬の背コース）を少し整備すれば、楽しく歩けるようになると思う。



図 山手地域の意見交換風景



図 山手地域のグループ発表の様子

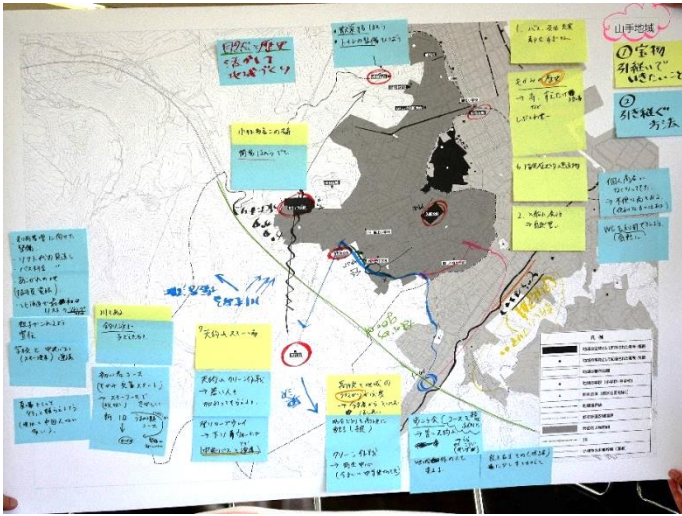


図 山手地域の宝物

(7) 南小樽地域

地域	地域の宝物	宝物を引き継いでいくために解決すべきこと
南小樽地域	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○勝納川の散策路 ○奥沢水源地・・・◆自然が美しい。 <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○猪俣邸 ○海陽亭 <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住吉公園・・・◆子どもの遊び場として利用が多い。 ○臨海公園・・・◆港湾を活かした小樽特有の可能性がある。 ○南樽市場・・・◆観光客や買い物客でにぎわいがある。 ○教育機関（潮陵・双葉） ○医療機関（市立病院・協会病院等）・・・◆地域に安心感を与える。 <p>【交通網等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北海道新幹線新小樽（仮称）駅 ○JR 北海道南小樽駅・・・◆バリアフリー化され利用しやすくなった。 ○JR 北海道小樽築港駅 <p>【歴史・文化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○潮見が丘神社等・・・◆松前神楽。価値のある仏像がある。 	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○勝納川の散策路・・・◆草刈りを増やしてほしい。◆もう少し道幅を広く、明るく、開放的な感じにすればよい。◆季節ごとの魅力（桜の並木道、鯉のぼり、鮭の遡上）があり、下流から約3kmウォーキングコースにすればよい。 ○奥沢水源地・・・◆イベント等広場の活用。◆休憩所・売店等の整備。◆魚の観察や体験型施設の設置。魚の生態系を守るため、清掃・整備。 ○天神浄水場・・・◆見学できるようにする。 <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨海公園・・・◆港湾を活かした小樽特有の地域性を活用する。 ○南樽市場・・・◆道の駅の建設や市場巡りなどの仕組みづくり。 ○市場・・・◆駐車場を整備すれば、来客数が増える。 <p>【交通網等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北海道新幹線新小樽（仮称）駅・・・◆新たにバス等の交通網で小樽市内・港・スキー場・温泉に来てもらう。 ○JR 北海道小樽築港駅・・・◆駅と直結した施設を整備し、利便性が向上する。 ○JR 北海道南小樽駅・・・◆黒くなった雪を除雪して、観光客のリピーターを増やす。 <p>【歴史・文化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○潮見ヶ岡神社（松前神楽）・・・◆神楽の開示（PR）。◆文化の伝承が必要。◆観光資源として可能性がある。 ○神社・・・◆教育委員会等の保存会を運営する。 ○お祭り・・・◆子ども神輿は、子どもの友達にも来てもらう。日当・お菓子等を支給する。 <p>【土地利用等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き地・・・◆冬は雪の堆積場所・夏は子どもの遊び場にする。



図 南小樽地域の意見交換風景



図 南小樽地域のグループ発表の様子

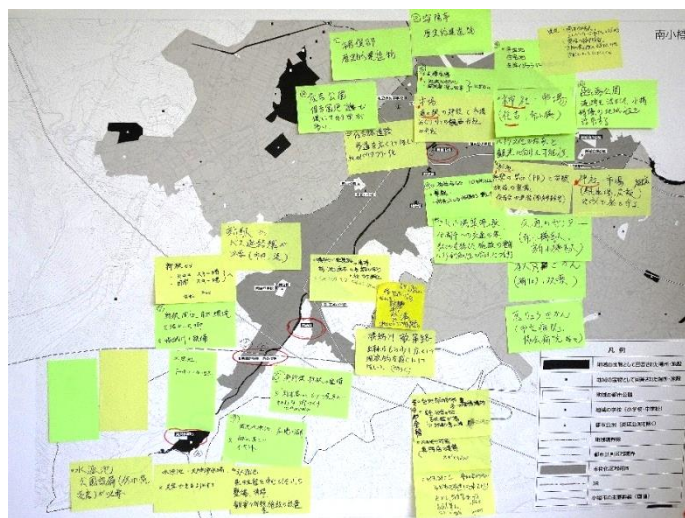


図 南小樽地域の宝物

(8) 朝里地域

地域	地域の宝物	宝物を引き継いでいくために解決すべきこと
朝里地域	<p>【自然や景観等】</p> <p>○朝里地域は、比較的平地が多い。 ○街並みがきれい。 ○落ち着いた住環境。 ○自然環境がよい。 ○花植えなどの美化活動がある。 ○朝里の海岸・・・◆随所に歴史的なスポットがある。 ○ワラビタイ川・・・◆水芭蕉の群生地。今後も保護していくべきである。</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <p>○道道1号線・・・◆朝里まちづくりの会や町内会などが花植えを行っている。 ○ちどり公園・・・◆朝里地域における教育の発祥の地である。 ○朝里の十字街・・・◆個人商店が多く、歴史がある。 ○小樽ダム</p> <p>【歴史・文化等】</p> <p>○熊碓神社の例大祭・・・◆神社総代・町内会が協力。出店は町内会を優先しており、桜中学校など地域の学校や団体が参加。祭りや伝統を残していきたい。</p>	<p>【自然や景観等】</p> <p>○ワラビタイ川・・・◆市民協働でビオトープとして活用する。◆朝里川遊歩道について行政と協力してハードの整備を進める。 ○朝里川と遊歩道・・・◆ビオトープとして活用。◆ヤマメの放流を継続する。 ○毛無峠展望台・・・◆整備をおこない、小樽の夜景を広くアピール。</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <p>○朝里川公園の緑・・・◆空き地に見える。もっと活用できるはず。 ○望洋台東公園の史跡（桜チャシ）・・・◆勉強会や広報、周知が必要。◆市民共有の史跡とするには、市や教育委員会等との調整が必要。 ○河川の防災対策（朝里ダム等）・・・◆朝里川沿いに住んでいる地域住民を守る為、施策が重要。 ○橋の整備・・・◆朝里川で地域が分断されている。繋がりをつくる仕組みが必要である。</p> <p>【交通網等】</p> <p>○バス・・・◆地域内を循環するバスが必要。</p>



図 朝里地域の意見交換風景



図 朝里地域のグループ発表の様子



図 朝里地域の宝物

(9) 銭函地域

地域	地域の宝物	宝物を引き継いでいくために解決すべきこと
<p>銭函地域</p>	<p>【自然や風景等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○銭函・・・◆小樽発祥の地。 ○海岸・・・◆張碓からドリームビーチまで連なる美しい海岸 ○星置川 ○張碓の恵比須島・・・◆サーファーが増えている。 ○アオバト・・・◆海水を飲むところなどバードウォッチングができる。 ○景観・・・◆銭函の景色・眺望は、すばらしい。 ○桂岡の高台からの眺望・・・◆素晴らしい。この眺望・景色は後世に残すべき。 ○ニシンの群来 ○車窓からの風景・・・◆銭函からJR に乗り、車窓から風景を楽しみ、小樽駅からバスで帰る観光客もいる。 <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北海道開発仮役所 ○運河の発祥（銭函運河） ○一原有徳氏の鉄のオブジェ ○小樽カントリー倶楽部・・・◆北海道初のゴルフ場 ○張碓駅跡。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災・・・◆銭函地域は、比較的 안전한地域 	<p>【自然や風景等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海岸・・・◆適切な維持管理が必要。JR 銭函駅周辺海岸の風化対策。◆ドリームビーチを改修し、リゾートビーチにする。◆砂地を活用して砂場の公園を整備する（砂場は、子どもの発育に良い）。◆恵比須島へ行けるようにする。◆海水浴ができるようにする。◆日本一きれいな海にする。 ○景観・・・◆老朽化した市営住宅を取壊し、自然に戻すことも必要。◆小樽を通過する観光客が多く、滞在・宿泊してもらうための工夫が必要。 ○散策路の整備・・・◆小樽市全体を回る散策路をつくる。◆星置川沿いに散策路を整備する。 <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一原有徳氏の鉄のオブジェ・・・補修が必要。 <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民センター・・・◆老朽化しており、地域の住民が集まれる場所として整備が必要。 <p>【交通網等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バス運行時間の延長・・・◆現状では、張碓の最終バスは 18:00 台。運行時間をもう少し延長してほしい。 <p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンパクトシティ・・・◆地形的にもコンパクト。◆工業団地の用途地域見直しをおこない、活用促進する。◆夢のある開発 ◆降りてみたいまち・住んでみたいまちにする。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災・・・◆避難場所（桂岡小学校）の耐震化等の備えが必要。◆地震の影響による停電対策が必要。◆H30.9.6 地震時、JR 踏切の遮断器が下りたままとなり復旧に時間を要した。◆上水道用ポンプが稼働せず、張碓小学校が避難所として開設されなかった。◆避難時サイレン設置されていなかったため、地震時に鳴らせなかった。対策が必要。 ○人口対策・・・◆地域でどう対応するか検討が必要。 ○戦略特区・・・◆銭函でさまざまな取組みを行う。 ○小樽市に期待すること・・・◆地域の宝物を探すよりも、地域を宝物にしていくことが重要。◆地域別懇談会で出た意見を少しでも実現していくことが重要。



図 銭函地域の意見交換風景



図 銭函地域のグループ発表の様子



図 銭函地域の宝物

5. 資料

(1) 事前配布調査票

お名前 _____

地域別懇談会調査票

住んでいる地域を見て、考えてみよう！

地域別懇談会では、お住まいの地域ごとにグループになっていただき、その地域のこれからのよりよいまちづくりを進めるために、地域で宝だと思うものなどについて、様々な立場から意見を出し合ってください。

この調査票は、懇談会で意見交換するテーマを事前に整理しておいていただくための資料です。

以下の設問を読んだあと、買い物や通勤・通学などの際に「他の地域にはない、この地域の魅力はなんだろう」、「解決すべき地域の課題はどんなことだろう」といったことを意識しながら、まちの様子を観察してみてください。そして、“これからのまちづくり”という視点で住んでいる地域のことを考えてみてください。

懇談会では、この調査票に記載していただいた内容を基にしながら、意見交換を進める予定ですので、忘れずにお持ちください。

問1 あなたがお住まいの地域で宝だと思うもの、引き継いでいきたいことはどんなことですか。

(あてはまるものに○)

また、その具体的な内容・場所や理由があれば()の中にお書きください。

- 1 ふだんの生活が便利 ()
- 2 自然が残っている ()
- 3 活気がある ()
- 4 街並みが美しい ()
- 5 利用しやすい公園がある ()
- 6 歴史のある建物や史跡がある ()
- 7 その他 ()

問2 現在、お住まいの地域の中で、手を加えればよくなると思うことはありますか。

(あてはまるものに○)

また、その具体的な内容・場所や理由があれば()の中にお書きください。

- 1 公園の様子・使い方()
- 2 空き地()
- 3 川沿い、崖地()
- 4 街並み・景観()
- 5 騒音・振動・臭い()
- 6 その他()

問3 今後、地域に望むことは、どのようなことだと思いますか。(あてはまるものに○)

また、その具体的な内容・場所や理由があれば()の中にお書きください。

- 1 自然(を残す)()
- 2 子供が楽しく遊べる場所()
- 3 お年寄りが安心して過ごせる場所()
- 4 地域の人々が集まれる場所()
- 5 魅力ある街並み()
- 6 まちなかの樹や花()
- 7 食べ物や日用品を扱うお店()
- 8 その他()

問4 魅力的なまちにするためのアイデアや提案、将来イメージなどを自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

★★★ 懇談会の際は、この調査票を忘れずにお持ちください ★★★

(2) 地域別懇談会説明資料

<p>1</p>	<p style="text-align: center;">地域別懇談会(住民ワークショップ) ～第2次小樽市都市計画マスタープラン～</p> <p style="text-align: center;">令和元年5月18日 小樽市</p>	<p>2</p>	<p style="text-align: center;">本日の次第(ワークショップの進め方)</p> <p>0. 開会・あいさつ(小樽市より) (5分)</p> <p>1. 資料等の説明 (30分) - 小樽市のまちづくりについて - 市民アンケート調査結果について - おたる子ども会議グループワークの結果について</p> <p>2. 意見交換の進め方・ルールの説明 (5分)</p> <p>3. 意見交換 (60分) ① 地域の宝物・引継いでいきたいことは? ② ①を踏まえ、引き継いでいく方法は?</p> <p>4. 全体発表 (45分)</p> <p>5. 事務連絡 (数分)</p> <p style="text-align: right;">終了予定時間 16:00</p>
<p>3</p>	<p style="text-align: center;">小樽市のまちづくりについて</p> <p>小樽市のまちづくりは、小樽市総合計画を最上位計画として、その下に都市計画マスタープランを位置づけ、その考えに基づき個別の取組みを計画的に進めています。</p> 	<p>4</p>	<p style="text-align: center;">具体的に、どのような都市を目指してきたの 現在の小樽市都市計画マスタープランでは、</p> <p>海と山に囲まれた地形、緑豊かな山なみや豊富な水源、濃紺の日本海等、それぞれが生み出す四季おりのすばらしい自然景観が小樽にあります。</p> <p>先人が築き上げてきた歴史や文化が織りなす落ち着いた風格あるまちなみや生活様式は、様々な形で根づいています。</p> <p>このような自然や文化は地域ごとに異なったものであり、地域の個性を生み出す要素にもなっています。</p> <p>この小樽らしい自然・歴史・文化を将来とも守り続け次代に継承していくとともに、個性を持ったそれぞれの地域が、お互いに連携し交流を深めあい、まち全体として躍動する姿が都市の理想像です。</p>
<p>5</p>	<p style="text-align: center;">具体的に、どのような都市を目指してきたの 将来の都市像として</p> <p>今後、全国的な人口の減少や少子高齢化のもと、都市化社会から都市型社会へと移行する中で、これに対応できる効率的な都市構造への転換が求められています。</p> <p>これまでに整備されてきた都市基盤を有効に活用しつつ、新しい都市機能を加え新旧の調和を図り、活力ある市街地の再生を図るとともに、ゆとりと潤いのある生活環境をバランスよく整備し、安全で快適な都市の形成をめざします。</p> <p>本市では、都市計画マスタープランの将来の都市像を、「市民と歩む21世紀プラン」に掲げられている「未来と歴史が調和した安心、快適、躍動のまち」とし、その実現に向けて次の「基本目標」を設定します。</p> <p style="text-align: right;">としています。</p>	<p>6</p>	<p>現在の都市計画マスタープランでは、このようなまちを目指すこととしていました。</p> 
<p>7</p>	<p>そんな、現行の小樽市都市計画マスタープランも策定から15年近く経過し、内容の点検・見直しを行う時期が来ています。</p> <p>そのため、昨年度から見直しに向けた検討を進めています。</p> <p>本日の懇談会は、見直しに向けた検討の一つです。</p> <p>参加された皆様の意見を参考に、都市計画マスタープランの見直しを行います。</p>	<p>8</p>	<p>これからの将来(10から20年後)に向けて、小樽市は、どのような都市を目指したら良いのか?</p> 

9 小樽市の人口は、どうなっているの？

- ・小樽市全体の人口は、年々減少しています。
- ・平成27年で121,924人となっており、**現行都市計画マスタープラン策定直近（H17）と比べ、約2万人減少しています。**

年	総人口	生産年齢人口	高齢者人口
2005	180,728	123,468	37,796
2006	172,486	117,821	32,675
2007	163,211	112,165	25,242
2008	157,022	106,146	26,352
2009	150,687	98,035	17,398
2010	142,161	98,088	15,082
2011	138,984	98,088	13,105
2012	131,928	98,088	11,317
2013	127,115	98,088	11,317
2014	121,924	45,240	85,317

資料：各年国勢調査

10 小樽市の将来人口は、どうなるの？

- ・国の研究所の推計では、2040年（令和22）年には**69,422人**になると推計されています。

11 小樽市は、どんなまち？

12 コンパクトなまち

- ・小樽市は、山と海に挟まれており、平地部分が少ない**コンパクトなまち**になっています。
- ・優先的かつ計画的に市街化を図るべき**区域（市街化区域）**は、平成7年以降はほぼ横ばいです。

13 海沿いの細長いまち

- ・小樽市は、日本海側に沿った細長いまちになっています。
- ・まちの歴史・成り立ちから9つの地域が存在します。

14 自然・緑・公園が多いまち

- ・小樽市は、自然・緑・公園が多く存在します。
- ・蘭島～祝津にかけて、二セコ積丹小樽海岸国定公園が存在。

15 観光のまち

- ・小樽市の観光入込客数は、平成29年で806万人となっており、観光は、小樽市の主要な産業となっています。
- ・地域の魅力度ランキング(株フランド総合研究所)も上昇傾向。
- ・北海道横断自動車道(余市～小樽JCT)の開業、北海道新幹線延伸(2030年度)を見据えて、観光への期待が広がる。

16 歴史と文化が色濃く残るまち

- ・小樽市内には、歴史的な街並みと建造物が多く存在。
- ・平成21年2月に「小樽市景観計画」を策定し、**小樽市全域を景観計画区域に**、**小樽運河周辺を小樽歴史景観区域に指定**。

17 市民アンケート調査結果について

18 現在及び将来の小樽市のまちづくりに関して、市民の方々がお持ちの考えや意見を伺うため、昨年度、アンケート調査を実施しました。

【主な質問内容】

- あなたは小樽市の住み心地についてどう思いますか。
- あなたは、これからも小樽市に住みたいと思いますか。
- 小樽市のこれまでのまちづくりについてどのように感じていますか。
- お住まいの地域の「たからもの」「将来に残したいもの」

19 あなたは小樽市の住み心地についてどう思いますか。

「小樽市の住み心地」について、「ふつう」と回答した人が最も多くなっています。

年代別で見ると、年齢が上がるにつれて満足度の低い回答が少なくなる傾向があります。

地区別で見ると、満足度の高い回答では朝里地区が最も多く、満足度の低い回答では南小樽地区が最も多くなっています。

20 あなたは、これから小樽市に住みたいと思いますか。

定住意向については、「できれば住みたい」が最も多く、「ずっと住み続けたい」と合わせると、定住に肯定的な回答が72.1%となっています。

年代別に見ると、年代が低くなるにつれて「いずれ引越したい」の割合が多く、年代が高くなるにつれて定住に肯定的な回答が多くなっています。

地区別による定住に肯定的な回答では、塩谷地区が最も多くなっており、定住に否定的な回答では、銭函地区が最も多くなっています。

21 小樽市のこれまでのまちづくりについてどのように感じていますか。

小樽市のこれまでのまちづくりについて、どの項目も「ふつう」が最も多くなっていますが、「道路や交通網の整備状況」については、満足度の低い回答が最も多くなっています。

一方で、「街並み、景観」については、満足度の高い回答が、満足度の低い回答を上回っています。

22 お住まいの地域の「たかからも」、「将来へ残したいもの」

分類	回答数	主な理由 (主な理由) など
公園	100	・自然豊かな公園 (巨大自然が残り、四季が楽しめる。ほか) ・小樽公園 (運動場がある。景観が、眺望が良い。ほか) ・その他 (広くて芝生が広がる。芝生が広がる。運動場が整備して公園、ほか)
海・海岸	76	・海水浴場 (海水浴場としての魅力、景色が良い。ほか) ・緑地帯 (散歩が楽しめる。景色が良い。ほか) ・その他 (灯台が見えて居る。小樽から海が一望できる。ほか)
山	34	・望洋山 (眺望が良い。自然環境が良い。ほか) ・大森山 (自然環境がよい。景色が良い。ほか) ・その他 (自然環境がよい。山頂からの眺め。ほか)
小樽運河	32	・小樽運河 (小樽を象徴する場所から、観光資源から、にぎやかな雰囲気が残っている。ほか)
鉄道踏切	23	・日本海線 (歴史を感じ、景色が美しい。ほか) ・その他 (北海道最後の踏切。見聞が良い。ほか)
歴史的建造物など	19	・歴史を感じる (日本海線踏切に付随する歴史的建造物のほか、歴史を体感できる。ほか) ・史跡 (旧小樽公会堂の歴史を感じる。ほか)
水辺緑	16	・たたら水鏡 (観音堂から、眺めがよい。大人も子供も楽しめる。ほか)
展望台	15	・塩谷展望台 (市街地が一望できる。眺望が良い。ほか) ・旭川展望台 (展望がよい。景観がよい。ほか)
まち (各地区)	13	・各地区 (朝里地区(地域活性化が盛ん)。朝里川(緑豊かな環境がよい。天神地区(伝統的景観がよい。) ・自然環境 (自然環境がよい。自然環境がよい。ほか) ・水天宮 (自然環境がよい。景観がよい。ほか) ・自然環境 (自然環境がよい。自然環境がよい。ほか) ・その他 (自然環境がよい。自然環境がよい。ほか)
神社	11	・天宮寺 (自然環境がよい。自然環境がよい。ほか)

23 おたろ子ども会議グループの結果

日時：平成29年7月15日 14:00~16:30
参加者：小樽市内中学校(12校)から24名
目的：第7次総合計画を策定する過程において、未来を担う世代の意見・意向を把握するため

テーマ	小樽のよいところ、好きなおとろ	テーマ2 10年後、こんなまちになってほしい
1. 公園や緑地等について	公園が多く充実しているところ。 病室が多く安心なところ。	1. 住みやすいまち どの年代の人も暮らしやすいまち。 ・新幹線の駅と小樽駅の間に新しい交通機関をつくる等、新しい街づくりのまち。 ・子供たちが遊ぶ場所を確保してほしい。 ・大学や専門学校を増やし、企業を誘致して働く人を増やす。小樽で学び、小樽でその技術を生かすことが大事。 ・ユーザーに対するサービスを増やして、高齢者や障害者にとってまちが暮らしやすいものになってほしい。 ・又、一歩一歩できる場所を確保してほしい。 ・市民が公園を確保してほしい。
2. 生活環境について	生活に便利なついでが充実しているところ。 病室が多く安心なところ。	2. 透気あるまち ・小樽駅や大型商業施設を拡大し、商業施設も充実させ若者も住みやすくなってほしい。 ・昔ながらの街並みをそのままに、今までの風情を残したまちでほしい。 ・保育園などの育児施設を充実させ、子供が増えてにぎやかになってほしい。 ・歴史的建造物を生かしたお店を作った人々を呼びたい。 ・商店街等でおしゃれなアレンジ (閉じたシャッターに絵) などして写真映えのまちを作る。
3. 街並み・景観について	まち自体に歴史があり、歴史的な建造物が多く保存されているところ。 緑が多く、空気が水が美味しいところ。 坂を登りきるとで健康にもなると、坂の上から見る景色がきれいなること。	
4. 都市防災について	災害が少ないところ。	
5. その他	緑地帯や工芸品など、昔のものがたくさん残っている。観光名所もたくさんある。 自然豊かで、夏は海水浴、冬はスキーと、どのシーズンも楽しめる。自然環境がよい。 地域活動、ボランティア活動が盛んに行われているところ。	

24 意見交換の進め方・ルールの説明

25 ワークショップとは

いろいろな立場・考えの人が集まり、一緒に作業することを通して、お互いの意見を理解し合い、新たな発見や共有の方向性を見出す「体験型/参加型の会議」

26 ワークショップのルール

1. 思いついたことは些細なことでも、『ふせん』に書いて発表しましょう。
2. 発言者の話を最後までよく聞きましょう。
3. 発言された意見を批判しないようにしましょう。
4. 他の人が発言できるように、発言は短めにしましょう。
5. 話し合った結果を成果としてまとめましょう。
6. 気軽に楽しみましょう。

27 意見交換①

皆さんで考え、話し合い意見を出してもらいたい内容。

あなたが思う・考える「地域の宝物・引継いでいきたいこと、何ですか？」

今日の説明(小樽市が進めているまちづくりに関すること)、事前にお配りした「地域カルテ」、「地域別懇談会 調査票」を基に、お教え下さい。

28 意見交換②

意見交換①で出た、「地域の宝物・引継いでいきたいこと」をこの先10~20年、もっと先まで引継いでいくために、どのようなことをしていけば良いか？ あなたの考え・意見をお聞かせ下さい。

- 1) 市民一人ひとりが行うべきことは？
- 2) 地域で行うべきことは？
- 3) 小樽市と一丸となって行うべきことは？
- 4) その他